

みんなのひろば



す



た



つ



こ



5 「お母さんといっしょに！」 (4ヶ月児健診から) 5

「おおき
なったら」



「おおきになったら、「マジレンジャー」のマジレッドになりたいです。カッコいいし、わるいやつらをやっつけて、つよいからです。」

ひかりほいくえん
うすば たかひろくん

町のホームページ「さわやか会議室」に書き込みのあった質問などを紹介します

みんなの声 28

「町民税・県民税 納税通知書について」

なんか面倒くさい。んじゃあ、私わなくてもいいや・・・ってな感じ。国民の義務もはたさない世の中だし、会社に迷惑かけてまでノコノコ手続きするほど暇じゃないよ。有給だってカタチだけで実際は冠婚葬祭しかつかえない会社ほとんどだし・・・。はあ・・・矢吹って外面よさそうで（いろいろやってるよーん的な案内は立派な言いぶり）中身がカラッポな感じ。ただの事務的な仕事やってるだけなら教えれば矢吹中学の卒業生でもやれそうな気がするよ。あーあー、いいわけばっかし。改善の具体策でもさわやか会議してくれよ！ってか、はやく通知書くらい作成すればいいじゃん!!問題解決だ! 【若人】

※【 】は書き込み者名です。

ひと



「中畑清旗争奪ソフトボール大会。この大会を通して、子どもたちに夢を持って頑張ることの大切さを伝えたいですね。」

佐藤 友美さん

さとう・ともみ ●

昭和28年9月生まれ。会社員。現在は高岡町に単身赴任中。(週末には中畑の自宅に帰宅。)趣味は、山歩き、水泳、読書など。

今年で23回目となる「中畑清旗争奪ソフトボール大会」。今月6、7日に、96チームが参加して熱戦が繰り広げられます。この大会で中畑さんとの連絡役や同大会の関連行事で、いろいろご尽力いただいているのが佐藤さん。中畑さんと中学時代からの旧友で、同級生からなる「さんや会」の幹事も務められています。

「この大会は最初、矢吹小学校のグラウンドを会場に数チームで始まりました。矢吹小学校のグラウンドは、清(佐藤)さんはこう呼ぶ。」も野球の練習をした「原点」でもあります。そういう大会から、スボ少の「甲子園大会」と呼ばれるくらい大規模で、長く続く大会になりました。これも、各団体の協力があってこそだと思いますね。」

中畑さんも都合がつく限りこの大会に足を運び、各会場に向いて子どもたちにエールを送り続けています。試合で頑張る子どもたちに、清さんは幼い頃の自分を重ねているのでは・・・と佐藤さん(ちなみに、佐藤さんから見ると中畑さんは「矢吹で生まれ育った田舎大好き人間」とのこと。矢吹座のトマトやグスベリの塩漬が大好きなんだとか。)

「この大会を通して、佐藤さんがみなさんに伝えたいこと。「矢吹には、清や丹野麻美さんといった「いい手本」があるんですからみなさんにも(子どもたちも)、夢を持って欲しいです。夢を持っていれば、頑張ってそこに近づくことができます!」

町への要望としては「さわやかな町」実現のために、まず、教育に力を入れて欲しいです。地域で子どもを育てる環境というのも必要ですね。あとは、町の基幹産業である農業をバックアップして、担い手育成などにも力を入れるべきだと思います。」

文芸

矢吹短歌会 ②

古稀すぎて妻と二人の野良仕事痛むからだを互いにかぼひ
後藤 芳一

松葉杖にすがりて茄子苗植豆
終る人にいふべき程にあらねど
庄司 カネ

ささくれし音が手なれども生命
練の長きを頼みに今日も過
ごさむ 須藤都志志

五月の初売りに買いしゴルフ靴
しまいしままに峠走となりぬ
高田 優子

さびさびと冬の林にきつつきの
木をたたく音澄みて聞こゆ
る 藤田大八郎